

秋季公開講座 「医薬品産業を支える生物工学」

富山県立大学では開学以来、地域の皆さまとの交流の場をつくり、本学の教育・研究の成果を広く開放し、地域社会の向上と皆さまの生涯学習の一助となることを目的に、『秋季公開講座』を毎年開講しています。

平成27年度は、「医薬品産業を支える生物工学」をテーマに、生物工学科及びERAROの講師陣が、多彩な視点から講義を行いました。4日間の講義で、延べ626名の方が受講され、大盛況となりました。



浅野教授の講義の様子

◆講義スケジュール及び担当講師◆

日時	時間	講義項目	講師等
11/7 (土)	13:30～13:40	開講式	学長 石塚 勝
	13:40～14:50	医薬品とは	工学部生物工学科教授 中島 範行
	15:00～16:10	バイキンの ^{ふんどし} 種で相撲を取る！—抗生物質の物語	工学部生物工学科講師 奥 直也
11/14 (土)	13:30～14:40	植物が作る医薬品～植物は化学プラントである～	工学部生物工学科講師 野村 泰治
	14:50～16:00	酵素反応を用いる医薬品のプロセス化学	工学部生物工学科教授 浅野 泰久
11/21 (土)	13:30～14:40	医薬品の作用機構と安全性	工学部生物工学科教授 榊 利之
	14:50～16:00	蛋白質性医薬品	工学部生物工学科講師 牧野 祥嗣
11/28 (土)	13:30～14:40	蛋白質設計とバイオ医薬品	工学部生物工学科准教授 磯貝 泰弘
	14:50～16:00	アミノ酸定量用酵素の開発	ERATO浅野酵素活性分子プロジェクト 酵素工学グループグループリーダー 松井 大亮
	16:00～	閉講式	地域連携センター所長 前田 幸男

次世代環境産業シンポジウム（富山県立大学産学官連携事業）



細田氏による基調講演の様子

平成27年11月27日（金）ボルファートとやまにおいて、「次世代環境産業シンポジウム」が開催されました。このシンポジウムは、富山県と共催で取り組み、資源循環社会づくりに向け、製造業者、廃棄物処理業者、大学、行政の関係者がそれぞれの役割について共に考え、連携・協働するきっかけづくりを目的に開かれたものです。

基調講演では、慶應義塾大学経済学部教授の細田衛士氏に「日本の資源循環の展望について」と題してご講演いただきました。また、先進事例紹介では本学から川上智規教授がスリランカにおける飲料水のフッ素除去の取り組みについて紹介、パネルディスカッションでは立花潤三講師がパネリストとして参加しました。また、ワークショップでは、各主体の目指すべき姿についてどのような連携が必要かについて議論を深めました。